

# 死の体験旅行®

ワークショップ

## 死の体験旅行

2019年4月20日(土) 13:30~15:30

場所：兵庫県福祉センター203号予定(変更可能性あり)

参加費：5,000円(非会員6,000円)

主催：兵庫県社会福祉士会・研修委員会



### ワークショップ概要

#### 本当に大切なものは何か？

自分が病にかかり、病気が進行し、やがていのちを終えていく物語を追体験する「死の体験旅行」。自分にとって「生と死」とは何か？ 本当に大切にしていることは何か？ ワークショップを通して考えていきます。

参加者からは「自分が本当に大事にしているものに気づいた」「生あることへの感謝」「私は大切なものに囲まれていたことに気がついた」などの感想が寄せられています。

#### 死を前にした人の苦しみ・悲しみを体験する

「死の体験旅行」は、ホスピスなどで死に関わる立場の方に、死にゆく人の気持ちを少しでも理解してもらおうと、アメリカで開発されたと言われているプログラムです。患者が体験する喪失感・苦しみ・悲しみを疑似体験することは、深い悲嘆を抱えた患者や家族と接する際に役立つとともに、本当の自分と向き合う大切な時間にもなるのです。

#### 僧侶として

私は僧侶です。人の生き死にに関わる立場です。このワークショップの存在を知った時、「自分が導師として勤める葬儀で、亡くなった方やご遺族の気持ちに少しでも近づき、寄り添い、その上でお勤めさせて頂きたい。」と思ったのが、このワークショップに関わるきっかけでした。



時には取捨選択をしながら、時には記憶の底から探り出しながら、自分にとっての「大切なもの」を書き出します。



書き出した「大切なもの」を手放す課程…それはいつか誰もが通る道なのかもしれません。

#### ファシリテーター

浄土真宗 倶生山なごみ庵 住職 浦上哲也

横浜市神奈川区平川町2-1-7

TEL&FAX -491-3909 メール bouzu@sd5.so-net.ne.jp

<http://753an.blog.so-net.ne.jp/>